

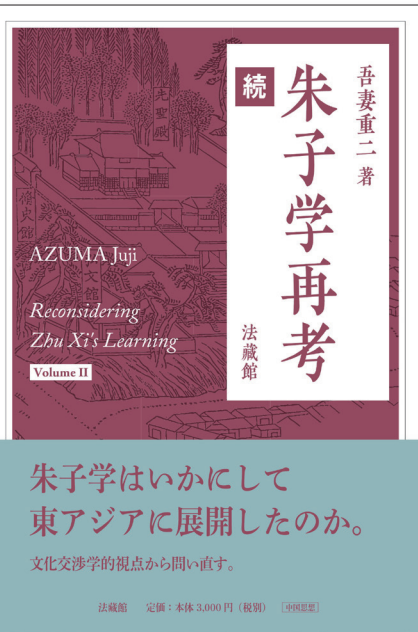
朱子学再考続

あずまじゅうじ

吾妻重二「著」（関西大学名誉教授）

四六判・上製カバー・三七二頁・定価三、三〇〇円（税込）

2026 年 10 月刊行



朱子学はいかにして
東アジアに展開したのか。
文化交渉学的視点から問い直す。

法藏館 定価：本体 3,000 円（税別）（中国語版）

朱子学は東アジアでどのように学ばれ、それぞれの地域に根づいていったのか。中国・朝鮮・ベトナム・日本の書院や教育、文化の交流をたどり、「勉強」「冠婚葬祭」など身近な言葉にも目を向け、その受容と展開を読み解く。

辛賢著『漢易術数論研究——馬王堆から「太玄」まで——術数理論と中国のパラダイム

劉岳兵教授の近代日本儒教研究——「中日近現代思想と儒学」および「日本近代儒学研究」・「明治儒学

与近代日本」に寄せて

堀池信夫編『知のユーラシア』

松下道信著『宋金元道教内丹思想研究』

土田健次郎著『朱熹の思想体系』

朱子学と日本語——洒落、一辺倒、稽古、勉強

はじめに

一 朱子学と日本の日常語——「洒落」「一辺倒」「稽古」

「勉強」の語の由来

二 「勉強」の語源と朱子学

はじめに

一 冠婚葬祭の語について

二 日本における使用

小 結

日本朱子学者たちのすぐれた理解

はじめに

一 藤原惺窩

二 山崎闇斎

三 浅見綱斎

四 貝原益軒・堀 景山

五 室 鳩巢

六 中村惕斎

後 記

「目次」

はじめに

Ⅰ 朱子学と東アジア
東アジアの儒教と文化交渉——覚え書き

はじめに

一 儒教史の研究と儒教通史

二 「文化交渉」について

三 近世東アジアの儒教の諸相

おわりに——文化としての儒教

東アジアの書院について——研究の

視角と展望

はじめに

一 なぜ書院をとり上げるのか

二 朱子学と教育

三 書院の位置づけ

四 研究の視角

おわりに

参考文献

東アジアにおける書院と私塾——中

国・韓国・ベトナム・日本

はじめに

一 中国の場合

二 韓国の場合

三 日本の場合

四 日本の私塾の特色

おわりに

江戸初期における学塾の発展と中

国・朝鮮——藤原惺窩、姜沆、松

永尺五、堀杏庵、林羅山、林鷲峰

らめぐる

はじめに

一 藤原惺窩および姜沆

二 松永尺五、堀杏庵、徳川義直

三 林 羅山

四 林 鷲峰

注文書

（書店名）

ご担当

様 冊

法藏館

三、三〇〇円（税込）

吾妻重二「著」

朱子学再考続

ご住所

お電話

お名前

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国思想

【著者略歴】1956 年茨城県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。博士（文学）、博士（文化交渉学）。現在、関西大学名誉教授、泊園記念会会長、日本中国学会顧問。専攻は中国思想史、儒教史、日本漢学史。主な著訳書：馮友蘭『中国哲学史 成立篇』（共訳、富山房、1995 年）、熊十力『新唯識論』（訳注、関西大学出版部、2004 年）、『朱子学の新研究—近世士大夫の思想史的地平』（創文社、2004 年）、馮友蘭『馮友蘭自伝—中国現代哲学者の回想』1・2（訳注、平凡社東洋文庫、2007 年）、『宋代思想の研究—儒教・道教・仏教をめぐる考察』（関西大学出版部、2009 年）、『泊園書院歴史資料集』（関西大学出版部、2010 年）、『朱熹《家禮》實證研究』（上海・華東師範大学出版社、2012 年）、『朱熹《家禮》宋本彙校』（上海古籍出版社、2020 年）、『中国現代哲学の探究』（関西大学出版部、2026 年）、『朱子学再考続』（法藏館、2026 年）など多数。